

平成31年度当初予算について

大野城市長 井本 宗司



平成31年度の一般会計及び5つの特別会計、2つの企業会計を合計した当初予算総額は、573億7千216万6千円で、前年度と比べて0.8%、4億7千713万4千円の減となっております。

このうち一般会計は、355億8千900万円で、前年度と比べて5億1千400万円の増となり、過去最大の予算規模となりました。

平成31年度は「新たな時代の10年の大計」である「第6次大野城市総合計画」がスタートする年です。「未来をひらく にぎわいとやすらぎのコミュニティ都市」という新たなスローガンを掲げ、「地域と行政の共働による魅力輝くまちづくり」「未来を担う子どもたちが心豊かに育つまちづくり」「誰もが自分らしくすこやかに生活できるまちづくり」「都市と自然が共生した安全で安心なまちづくり」という4つの政策を実現するための取り組みを強く推進してまいります。

本年度におきましては、本市の今後の成長に向けて必要となる“未来のため”の取り組みと、市民の皆様が住み良さを実感できる“暮らしを守る”取り組みの2つに重点を置き、市職員一丸となって市政運営に取り組んでまいります。

市民の皆様からお預かりした貴重な税金を無駄にすることなく、次世代に負担や責任を先送りにしない「選択と集中」、「先手・先取の対応」を基本とした戦略的な財政運営に引き続き努めてまいります。

このパンフレットは、大野城市の平成31年度当初予算を市民の皆様に分かりやすく紹介するために作成したものです。明日の大野城市と一緒に考えていくために、市政に対する理解を深める一助として活用していただければ幸いです。

各会計の予算総括

(単位:千円、%)

会 計 区 分			平成31年度予算額	平成30年度予算額	増 減 額	増減率
① 一般会計			35,589,000	35,075,000	514,000	1.5
② 国民健康保険特別会計			8,166,582	8,634,177	△ 467,595	△ 5.4
③ 介護保険特別会計(保険事業勘定)			5,514,063	5,850,187	△ 336,124	△ 5.7
④ 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)			21,779	21,309	470	2.2
⑤ 後期高齢者医療特別会計			1,314,531	1,276,525	38,006	3.0
⑥ 公共用地先行取得事業特別会計			1	1	0	0.0
⑦ 土地区画整理清算金特別会計			218	218	0	0.0
小 計 (A)			50,606,174	50,857,417	△ 251,243	△ 0.5
⑧ 水道事業会計	収益的 収 支	収入	2,198,740	2,171,975	26,765	1.2
		(B) 支出	2,113,044	2,140,822	△ 27,778	△ 1.3
	資本的 収 支	収入	224,167	267,850	△ 43,683	△ 16.3
		(B) 支出	1,064,573	996,749	67,824	6.8
⑨ 下水道事業会計	収益的 収 支	収入	2,333,142	2,294,291	38,851	1.7
		(C) 支出	2,056,930	2,050,904	6,026	0.3
	資本的 収 支	収入	974,095	978,032	△ 3,937	△ 0.4
		(C) 支出	1,531,445	1,803,408	△ 271,963	△ 15.1
全会計合計 (A) + (B) + (C)			57,372,166	57,849,300	△ 477,134	△ 0.8

用語解説	予算 1年間の収入(歳入)と支出(歳出)の計画です。予算を見れば、市民の皆さんが納める税金などが、どのような事業にいくら使われるのかが分かります。	特別会計 国民健康保険や介護保険のように特定の収入で、特定の事業を行う場合などに設ける会計です。大野城市には現在5会計(国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、公共用地先行取得事業、土地区画整理清算金)があります。
	歳入・歳出 会計年度(4月から翌年3月までの期間)内の収入・支出のことです。	企業会計 民間企業のように、利用料金などの収益で運営している会計です。大野城市は現在2会計(水道事業、下水道事業)があります。
	一般会計 福祉や教育、道路整備など、行政の基本的な事業の会計(予算の中心)です。	